

シダトレンスギ花粉症エキスによる舌下免疫療法について

テレビ・マスコミでも話題となっているスギ花粉症の舌下免疫療法は、これまでにない画期的な最新の治療法です。

舌下免疫療法については、[Google](#)や[yahoo](#)で『[トリーさんのアレルギー免疫療法ナビ](#)』を検索して下さい。

舌下免疫とは？

これまでの薬治療とは異なる新しい治療です。現在ある花粉症の薬は花粉症の時期に症状を抑えるだけで、花粉症の体質を変えることができません。舌下免疫療法は、花粉症体質を変えることを目指した新しい治療法です。花粉症の時期にではなく、花粉症の時期の何ヶ月も前から行う治療です。

舌下免疫はどうやっておこなうの？

スギ花粉から精製された薬を使います。1mlの液状の薬を舌下（舌の裏側）に入れ、2分間待ってから飲み込みます。1日1回毎日自宅で行います。スギ花粉の飛散する3ヶ月以上前から治療を開始し、最低2年間、できれば4～5年間の継続治療が必要です。

新薬のため厚生労働省の規定で、発売後約1年間は2週間処方となります。患者さんの都合による2週間を越える長期投与はできません。2週間に1回は必ず来院が必要です。その後も最低1ヶ月に1回の受診が必要です。

この様な花粉症の方に治療をお勧めします。

- ① 12歳以上で毎年スギ花粉症でお悩みの方
- ② 将来の妊娠出産時の薬服用が不安な方
- ③ 将来に受験を迎える時期にスギ花粉症が心配な12歳以上の学生

この様な方には舌下免疫の適応がありません。

- ① 舌下免疫はスギ花粉症の治療です。ホコリやスギ花粉以外の鼻アレルギーに対する治療ではありません。
- ② 喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などにも効果ありません。
- ③ 重症喘息の方・がんを治療中の方には治療できません。
- ④ 近々妊娠を希望される方も行えません。
- ⑤ アトピー性皮膚炎の強い方、食物アレルギーの強い方は行えない場合もありますので、医師にご相談ください。
- ⑥ 高血圧でお薬を飲んでいる方は、薬の種類により変更が必要ですので、治療時に相談します。
- ⑦ 12歳からの保険適応となります。治療開始時に12歳以上でないと保険適応となりません。

舌下免疫の治療開始は夏休み～11月です。
今シーズンは今まで通りに薬で治療しましょう。



舌下免疫を考える前に必ずご理解下さい

花粉症を良くしたい方が根気よく行う治療です。

最初の約1年間は、2週間に1回の受診が必要です。その後は1ヶ月に1回になります。厚生労働省の規定で今回販売されるような新薬は、発売後1年間は2週間分までしか薬の処方できません。患者さんの都合により長期処方もできませんので、月に2回の通院可能な方のみ行えます。

毎日自宅で1年中治療します。花粉症の飲み薬のように花粉症の時期の症状の悪い時に行う治療ではありません。スギ花粉飛散前も、飛散中も、飛散後も舌下免疫を継続します。

継続して治療できない方は、効果がないばかりか、安全にできません。時々忘れる程度は大丈夫ですが、適切な治療を行われると治療が中止されます。適切に治療すれば安全に行えますが、使用方法を遵守しないと悪副作用（副反応）があります。この薬はスギ花粉を精製した自然物ですので一般に使われている薬のような副作用はありません。しかし、体にスギ花粉を入れますので、この薬によりアレルギー症状が出る可能性があります。このような副作用を副反応と呼びます。これまでに致命的な副反応の報告はありませんが、誤った薬の使い方や治療計画を遵守しない使用法（適当に治療したりしなかったりする等）による副反応の可能性があります。適切に治療すれば、副反応があったとしても軽く安全ですので、治療を開始する方はできるだけ計画通りに治療を行ってください。薬を飲んだり飲まなかったりする、仕事等で多忙から長い間薬を取りに来られないというような方は不向きな治療です。

治療はまず2年ほど行います。効果のある方はその後も継続して3～5年の長い年月の治療となります。ですので、とりあえずやってみるかと思われる方にはこの治療は向きません。スギ花粉症を良くしたいと思われる方が、根気よく行う治療です。

舌下免疫すれば必ずスギ花粉症が完治するわけではありません。

これまでの経験から、約2割の人が花粉飛散期にほとんど症状がないかあっても軽微で短期間薬を飲めば大丈夫となります。完治に近いとまではいかなくとも、半分程度の方は非常に良くなり、薬の使用量も減って症状も軽くなります。これらの効果は、これまでの薬治療にはない画期的な効果です。約2割といえども完治に近い状態ですので、これまでの薬治療には無い効果です。全体の8割程度で多少なりとも効果がありますが、残念ながら1～2割には効きません。長期間治療した結果で効かないことは、この治療の大きな問題ですが、残念ながら治療前に舌下免疫が効く方か効かない方を見分ける方法や検査はありません。

数年以上治療して効果があれば、治療終了してもその効果は長く続くと考えられます。また、その後に効果が減弱した場合に、再度同じ治療を行えば効果が戻ると考えられます。

現在花粉症に使われている薬を併用することは可能です。舌下免疫を行って花粉症状があれば、これまでと同じ治療ができます。これまでの薬と異なり、全員ではないものの非常に良くなる方がみえるのが、この治療の大きな特徴です。

舌下免疫療法をお考えの方はどうすればよいか？

治療を始める前に、採血などの検査が必要です。まずは検査を行い、適切な時期に治療を開始します。効果的な治療のため、11月末までには治療を開始しましょう。治療費用は、医院での治療費と薬局での薬代を合わせて1ヶ月あたり、3,000～4,000円の負担（保険適応3割負担）になります。